

## 令和6年度 事業報告

全国の令和6年産水稻は、作付面積が135万9,000haとなり前年産に比べ1万5,000ha増加した。作柄については、作況指数が101の「平年並み」、10a当たり収量が540kgとなり、収穫量は734万5,000tと前年産に比べ18万t増加した。

本県の令和6年産水稻は、作付面積が8万4,200haとなり前年産に比べ1,200ha増加した。作柄については、7月以降の日照時間が少なく経過したことから草丈が長めとなり、収穫前の風雨等により多くのほ場で倒伏がみられたものの、総じて天候に恵まれたことにより、作況指数が102の「やや良」、10a当たり収量が582kgとなり、収穫量は49万tと前年産に比べ3万1,800t増加した。

国民生活においては、主食用米の集荷価格の上昇と流通現場での不足感から相対価格が過去最高値となったことにより、精米販売価格も上昇、マスコミ等で「令和の米騒動」として報じられるなか、国は備蓄米の放出を決定し、令和7年3月に14万tと7万tの2回入札を実行し、今後さらに7月まで複数回の備蓄米放出も予定されている。

一方、生産現場では、令和7年産の生産に向け、水稻種子の注文は、令和7年産米への価格の期待感から、主食用米への回帰傾向がみられ、特に今年から一般作付が始まる「あきたこまちR」へ追加注文が増加したため、全農と連携のうえ対応した。

当協会の運営においては、「主要農作物種子関連会議」「秋田県産米改良展」「秋田県産米品評会褒賞授与式」「第四次あきた売れる米づくりランクアップ運動並びに秋田県優良水稻種子生産共励会褒賞授与式」「農産物検査員研修会」などの主要行事を通常どおり開催することができた。

このような中、当協会は「生産改善対策事業」「種子生産対策事業」「保管業務指導事業」「農産物検査員研修事業」について、関係機関の指導と協力を得て次の取り組みをおこなった。

## I. 生産改善対策事業

昭和63年から継続している「秋田県うまい米づくり運動」の具体策として、「秋田県産米品評会」の開催や「第四次あきた売れる米づくりランクアップ運動」（令和6年度～令和8年度）の推進により、関係機関・団体と一体となって品質や食味の優れた米の産地を目指す取り組みをおこなった。

### 1. 「秋田県産米品評会」の開催

第147回秋田県種苗交換会の協賛事業として開催した第43回秋田県産米品評会に県内生産者から103点の出品があった。出品物の優劣を比較検討し優秀な生産者を表彰した。

なお、出品物は秋田県産米改良展として秋田県種苗交換会において展示し、一般に紹介した。

#### <出品物：品種別内訳>

水稻うるち玄米（101点）					
あきたこまち	サキホコレ	ひとめぼれ	つぶぞろい	めんこいな	秋のきらめき
60	22	15	2	1	1
醸造用玄米（2点）					
秋田酒こまち	美山錦				
1	1				

○ 審査委員会 令和6年10月25日

○ 褒賞授与式 令和6年11月5日

#### <褒賞授与>

○ 秋田県産米改良協会会長賞

「最優秀賞」 6点

「優秀賞」 7点

「優良賞」 7点

○ 特別賞

東北農政局長賞 1点

秋田県知事賞 1点

その他団体賞 4点

## 2. 「第四次あきた売れる米づくりランクアップ運動」の推進

秋田米の「売れる米づくり」のため、品質・食味の優れた米の産地を目指し、「日本一うまい米づくり」に向け、平成27年度から継続している「あきた売れる米づくりランクアップ運動」を第四次（令和6年度～令和8年度）として取り組むこととし、推進を図った。

運動の目標達成状況により集荷業者を表彰したほか、提供された玄米サンプル（JA系統390点、主食集荷系統120点）の整粒歩合・食味値・蛋白値・アミロース値等の分析結果を指導用資料として集荷業者に提供するなど高品質米生産の支援活動に努めた。

品質・食味の分析では、前年同様気象条件による影響はあったものの、前年度との比較では整粒歩合が10.8ポイント大幅に改善したものの、食味値では前年と同じ平均値となり目標値を下回った。

### <褒賞授与>

- 審査委員会 令和7年2月13日
- 褒賞授与式 令和7年3月4日
- 秋田県産米改良協会会長賞

#### 〈JAの部〉

- 「最優秀賞」 1点
- 「優秀賞」 1点
- 「優良賞」 2点
- 「努力賞」 3点

#### 〈主食集荷の部〉

- 「最優秀賞」 1点
- 「優秀賞」 1点
- 「優良賞」 1点
- 「努力賞」 1点

### <玄米分析>

- 整粒歩合関係（穀粒判別器：静岡ES-5） 510点
- 品質評価値関係（食味値：ケットAN-820） 510点
- 在庫米水分関係（米麦水分計：ケット） 7,485点

### <運動の達成状況>

項目	運動目標値	実績		
		令和6年度	令和5年度	令和4年度
種子更新率	100%	100.0%	100.0%	100.0%
整粒歩合	80%以上	76.7%	65.9%	74.3%
食味値	80以上	73.7	73.7	73.9
栽培履歴記帳	100%	100%	100%	100%
品質事故	0件	0件	0件	1件

### 3. 生産者に対する啓発資料等の配布ならびに情報提供

#### (1) 啓発資料

○ 啓発用チラシ：

    水稻種子の取扱いについて

77,000枚

#### (2) 情報提供

○ ホームページ：採種情報、会議・研修会等の様子、各事業の褒賞受賞者など  
    各種情報の提供

○ 稲作技術研修会等への参加

## II. 種子生産対策事業

採種組合の研修会、巡回指導、県が実施するほ場確認への立会い、種子の需給調整、優良水稻種子生産共励会の開催などを通じて生産技術の向上および優良種子の安定確保に努めた。

### 1. 採種ほの設置

秋田県が策定した種子生産計画に基づき、水稻種子および大豆種子の採種計画数量を決定し採種ほを設置した。

<令和6年産 採種ほ設置状況>

	採種計画 数量	採種ほ設置 面積	採種ほ（JA名）
水稻	2,857,500kg	625.8ha	かづの、あきた北、あきた白神、あきた湖東、大潟村、秋田なまはげ、秋田しんせい(金浦・大内)、秋田おぼこ(千畑・中仙・仙北・協和・西木)、秋田ふるさと(大雄・平鹿)、こまち、うご 計17か所
大豆	249,300kg	123.3ha	あきた北、秋田たかのす、秋田やまもと、あきた湖東、秋田なまはげ、大潟村、秋田おぼこ(太田・大仙)、秋田ふるさと 計9か所

※小麦の採種は平成30年度から全量県外に委託。

### 2. 採種および供給の状況

#### (1) 水稻種子

令和6年産の種子生産は、県内一般作付で令和7年産より「あきたこまちR」に切り替わるため、令和6年産より「あきたこまちR」の採種を開始した。

採種情報の提供等による栽培管理や適期収穫などを徹底したが、気象条件による倒伏が発生し採種できないほ場もあった。

また、米の需給環境の激変による主食用米への作付け転換を想定し、採種初年となる「あきたこまちR」については、県内の各採種ほに増産を依頼し採種数量の積上げをはかった。なお、「美山錦」の不足分は転用種子で対応した。

採種数量全体では、複数品種で供給量を確保するための増量採種をおこなった結果、計画を99トン上回る2,956.8トンとなった。供給数量は前年比99.8%の2,876.7トンとなった。

<令和7年播種用水稲種子 採種実績・供給実績>

	採種計画		採種実績		供給実績 (県外含む)	
	面積 (ha)	数量 (kg)	数量 (kg)	計画差 (kg)	数量 (kg)	前年比 (%)
あきたこまちR	464.86	2,109,200	2,194,600	85,400	2,171,660	100.7
サキホコレ	17.15	83,800	80,120	△ 3,680	66,080	107.4
ひとめぼれ	48.42	207,800	217,000	9,200	220,640	106.7
めんこいな	34.95	166,500	166,500	0	161,340	94.9
ゆめおぼこ	13.94	69,300	69,300	0	67,880	100.9
つぶぞろい	2.54	11,000	14,920	3,920	14,960	298.0
秋のきらめき	1.20	4,500	4,500	0	3,520	113.5
淡雪こまち	1.88	8,000	7,840	△ 160	7,840	98.0
秋田63号	4.37	32,000	32,000	0	18,440	57.1
酒米	6.46	26,000	28,420	2,420	23,740	88.8
もち米	30.06	139,400	141,600	2,200	120,580	82.4
合計	625.84	2,857,500	2,956,800	99,300	2,876,680	99.8

※あきたこまちRの前年比は、前年あきたこまち供給実績との比率とした。

※ 供給実績には、「ひとめぼれ」3,640kg、「ゆめおぼこ」1,380kg、「つぶぞろい」980kg、「美山錦」(酒米)20kgの令和5年産低温貯蔵種子を含む。

(2) 大豆種子

令和6年産の種子生産は、7月の局地的な大雨や開花後の高温・少雨により、生育不良となるほ場が確認された。

採種数量は「リュウホウ」が計画を41,250kg下回る206,550kg、「あきたみどり」が計画を1,080kg上回る2,580kgとなった。

供給実績は、全体では前年から33,330kg減少した272,520kgとなったが、不足分については、6年産一般大豆を転用種子として供給した。

<令和7年播種用大豆種子 採種実績・供給実績>

	採種計画		採種実績		供給実績	
	面積 (ha)	数量 (kg)	数量 (kg)	計画差 (kg)	数量 (kg)	前年比 (%)
リュウホウ	122.3	247,800	206,550	△41,250	269,640	88.7
あきたみどり	1.0	1,500	2,580	1,080	2,880	162.7
合計	123.3	249,300	209,130	△40,170	272,520	89.1

※ 採種実績のほか6年産一般大豆「リュウホウ」(他県産)の転用種子67,200kgと「あきたみどり」の転用種子630kgを確保した。

### (3) 小麦種子

小麦種子（ネバリゴシ）は全量を青森県に栽培委託して供給した。

#### <令和6年播種用小麦種子 供給実績>

	供給実績	
	数量(kg)	前年比(%)
ネバリゴシ	12,000	88.1

### 3. 「優良水稻種子生産共励会」の開催

水稻種子生産農家の優良種子生産に対する意識高揚を図るため第33回「優良水稻種子生産共励会」を開催し、優秀な生産者を表彰した。

出品点数は、「あきたこまちR」25点、「サキホコレ」3点、「めんこいな」3点、「ひとめぼれ」2点、「秋田63号」2点、「酒造好適米」2点、「もち米」4点、「その他品種」4点の合計45点であった。

○ 審査委員会 令和7年1月28日

○ 褒賞授与 令和7年3月4日

○ 秋田県産米改良協会会長賞  
「優秀賞」 5点  
「奨励賞」 6点

○ 特別賞  
東北農政局長賞 1点  
秋田県知事賞 1点  
その他団体賞 3点

### Ⅲ. 保管業務指導事業

全農秋田県本部、秋田県主食集荷商業協同組合との業務委託契約にもとづき、米麦倉庫等での保管管理について巡回指導をおこなった。

米麦保管倉庫においては、保管履歴を明確に示す保管管理日誌のチェック、倉庫内の温湿度管理、本庫内外の整理・整頓、清掃、施設管理状況、火災盗難事故防止対策並びに虫鼠害対策の現地点検をおこない品質保持と事故防止に努めた。

カントリーエレベーターにおいては、収穫最盛期の過剰荷受けや不適切な乾燥作業などが品質事故につながる場合が多いことから、管理者に対しては計画や管理方法について、オペレーター等施設従事者に対しては日常的な業務における具体的運営方法や環境整備等について指導をおこなった。

#### 1. 令和6年度 保管施設巡回件数

	技師数	施設数	巡回件数			
			J A 関係	主食 集荷	その他	合計
米 麦 倉 庫	3名	512	1,762	316	75	2,153
カントリー エレベーター	1.5名	47	701	—	—	701

※CE技師の令和7年3月末の退職に伴い、引継も兼ね8月から3月まで2名体制。1.5名とした。

#### 2. 改善指摘事項 244件

#### 3. 主な改善指摘事項

- 施設の補改修
- 庫内の照度不足
- 表示板・はい票せん・緊急連絡図の整備
- 消火器・穀温計・温湿度計の点検
- 保管管理日誌の整備
- 荷粉米等の清掃の徹底
- 粘着シートの追加や鼠返しの補修等、防鼠対策の徹底

#### IV. 農産物検査員研修事業

農産物検査員資格の取得に向けた「農産物検査員育成研修会」において、受講した12登録検査機関の33名全員が基礎課程の履修試験に合格し、うち現場実習課程を修了した32名（内2名種類追加）が新たに農産物検査員名簿に登載された。

検査現場における技術向上を図るための「農産物検査員取得1～3年生品位鑑定研修会」「農産物検査員品位鑑定研修会」を地区ごとに3回開催し等級判定や品位の分析等をおこなった。

「主要農作物種子検査員研修会」「秋田県JA農産物検査員米穀鑑定競技会」「農産物検査員指導者研修会」については、新型コロナウイルス感染症による影響は少なくなり、昨年までと同様に研修会等を実施できた。

また、登録検査機関や検査員間による格付のバラツキを防ぐため、「農産物検査員指導者研修会」を出来秋の玄米出回り直前に開催し、「検査見本品」を作製したうえで、全検査員に配布することにより検査水準の統一に努めた。

##### <研修会等>

開催内容	開催時期
第1回検査員取得1～3年生品位鑑定研修会(3会場)	令和6年4月
第2回                   "                   (3会場)	令和6年4月
第3回                   "                   (3会場)	令和6年5月
農産物検査員育成研修会〈資格取得研修〉	令和6年5月～7月
第1回農作物検査員品位鑑定研修会                   (9会場)	令和6年7月
第2回                   "                   (9会場)	令和6年7月～8月
第3回                   "                   (4会場)	令和6年8月～9月
主要農作物種子(水稻・大豆)検査員研修会	令和6年8月
秋田県JA農産物検査員米穀鑑定競技会	令和6年8月
農産物検査員指導者研修会(検査見本品作製)	令和6年9月
農産物検査品確認研修会                   (9会場)	令和7年1月～2月

## V. 主な行事

	行事名	場所
(令和6年)		
4月 8日	第1回検査員1～3年生品位鑑定研修会(～10日)	3会場
12日	令和6年産大豆採種ほ設置計画会議	秋田県JAビル
23日	第2回検査員1～3年生品位鑑定研修会(～25日)	3会場
24日	令和5年度決算監査(協会、検査協議会)	秋田県JAビル
30日	水稻苗代審査(～5月15日)	各採種ほ場
5月14日	「農産物検査員育成研修会」指導者会議・研修会	秋田県JAビル
20日	第3回検査員1～3年生品位鑑定研修会(～22日)	3会場
29日	「農産物検査員育成研修会」(講義)(～6月4日)	秋田県農業試験場
6月 3日	理事会	秋田県JAビル
5日	「農産物検査員育成研修会」(実習)(～7月2日)	秋田県農業試験場
18日	水稻種子取扱会議	秋田県JAビル
18日	大豆種子取扱会議	秋田県JAビル
28日	第48回通常総会	秋田県JAビル
28日	第24回JA農産物検査協議会通常総会	秋田県JAビル
7月 1日	第1回農産物品位鑑定研修会(～7月19日)	9会場
10日	大豆種子生産技術研修会	秋田県農業試験場
22日	第2回農産物品位鑑定研修会(～8月2日)	9会場
31日	水稻第1期ほ場確認立会い(～8月9日)	各採種ほ場
8月 5日	大豆第1期ほ場確認立会い(～9日)	各採種ほ場
22日	主要農作物種子(水稻・大豆)検査員研修会	秋田県JAビル
22日	水稻第2期ほ場確認立会い(～9月12日)	各採種ほ場
23日	全県JA農産物検査員米穀鑑定競技会	秋田県JAビル
28日	第3回農産物品位鑑定研修会(～9月3日)	4会場
9月 5日	水稻種子需給対策会議	秋田県JAビル
5日	水稻種子調製に係る技術等研修会	JA秋田なまはげ 種子センター
9日	農産物検査員指導者研修会(～10日)	秋田県JAビル
10月 1日	大豆第2期ほ場確認立会い(～29日)	各採種ほ場
17日	保管業務月例会議(1回目)	秋田県JAビル
25日	産米品評会審査委員会	秋田県JAビル

	行事名	場所
11月 1日	秋田県産米改良展 (秋田県種苗交換会協賛事業) (~11月5日)	鹿角市
5日	秋田県産米品評会褒賞授与式	鹿角市
27日	秋田県農作物種子生産者協議会役員会	秋田県 J Aビル
12月 10日	令和6年産水稻種子価格検討委員会	秋田県 J Aビル
12日	秋田県主要農作物種子実績検討会	秋田県 J Aビル
12日	秋田県主要農作物種子生産者協議会総会	秋田県 J Aビル
(令和7年)		
1月 28日	「第33回秋田県優良水稻種子共励会」審査委員会	秋田県 J Aビル
28日	令和6年産水稻種子共済基金積立金支出査定委員会	秋田県 J Aビル
29日	農産物検査品確認研修会 (~2月17日)	9会場
2月 13日	令和6年度「第四次あきた売れる米づくりランクアップ運動」審査委員会	秋田県 J Aビル
18日	令和7年産水稻採種ほ設置計画会議	秋田県 J Aビル
18日	保管業務月例会議 (2回目)	アキタパークホテル
3月 4日	令和6年度「第四次あきた売れる米づくりランクアップ運動」ならびに「第33回秋田県優良水稻種子生産共励会」褒賞授与式	秋田県 J Aビル
4日	理事会	秋田県 J Aビル